



環境経営レポート

活動期間 第63期 (2023年4月1日~2024年3月31日)



発行日 2024年 4月 30日

刷 数 第 10 版



竹田サンテックグループ

竹田サンテック(株)・共立サンテック(株)

発行にあたって

経営課題である“加工不良の削減”に対する取組を重点目標におき、試行錯誤しながら、一步ずつ改善に向けて取り組んでいる活動を記録に残しました。

グループ全員とより多くの関係者の方々に理解して頂くため、文字を大きくグラフや写真を多用しPDCAにそって表記しました。

当社の活動が環境に貢献している事を広く知ってもらうためSDG s と結びつけ、今後も環境問題への積極的な取り組みに努めます。

SDG s の取り組みについて



モノづくりへの挑戦と 環境問題への積極的な取組



12
つくる責任
つかう責任

コミュニケーションを図る
関係者が集まり会議を開催する。
各活動の進捗状況や活動評価を確認する。



4
質の高い教育を
みんなに

二酸化炭素排出量の削減
電力消費量の削減を中心とした
二酸化炭素排出量の削減へ取り組む



12
つくる責任
つかう責任

13
気候変動に
具体的な対策を

改善提案の推進
従業員全員で日常業務の改善や効率化
を考え業務改善に繋げる取り組み



8
働きがいも
経済成長も

9
産業と技術革新
の基盤を作ろう

加工不良の削減
発生した不良に対して原因分析と対策を実施
再発を防止して電力使用量の削減へ取り組む



12
つくる責任
つかう責任

目 次

項 目	ページ	
■ 組織の概要と事業内容	・・・ 3	
■ 環境経営方針	・・・ 5	
■ エコアクション実施体制と担当役割	・・・ 6	
■ 生産活動での投入量と排出量	・・・ 7	
■ 環境経営目標	・・・ 8	
■ 今期活動実績と評価	・・・ 9	
■ 環境計画の取組とその評価 および次年度の取組内容	・・・ 10	    
① 二酸化炭素排出量削減	・・・10	 
② 廃棄物排出量削減	・・・14	
③ 総排水量削減	・・・16	
④ 製品・サービスへの環境配慮	・・・16	
⑤ 地域社会への貢献	・・・18	
■ 事業における課題	・・・19	
■ 環境関連法規等の遵守状況	・・・23	
■ 代表者による全体の評価と見直し	・・・24	

組織の概要

竹田サンテックグループ

会社名 竹田サンテック株式会社
共立サンテック株式会社

代表者 竹田 勝宣

代表者 竹田 哲也

資本金 1,530万円
1,000万円

所在地 静岡県静岡市駿河区国吉田1丁目10番53号

連絡先 電話 054-267-7551

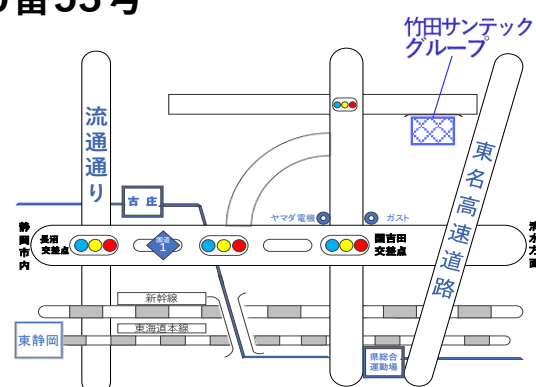
FAX 054-267-7532

◇環境管理責任者 武田 淳

◇連絡先担当者 永山友佳子



kyoritsu@kr-suntec.jp



事業内容

自動車照明器具の金型を一貫製作します!!

竹田サンテック(株)

金型設計

- 設計図作成
(CAD、CAM)
- 3Dモデル

機械加工

- 穴開け加工
- 切削加工
(金属、電極材)

共立サンテック(株)

仕上加工

- 放電加工
- 旋盤・磨き
- 組立・納品



自動車照明器具の
製品を作成できる
金型を製造します!

樹脂を流す



製品 (右・左セット)
金型 (グレー部分)

最新の CAD/CAM
システムを駆使し
金型の凹凸構造を
デザインします。



金型の元となる鋼
材を少しずつ削り
設計どおりの凸凹
形状に近づけます。



金型の細部を加工
し滑らかな表面に
仕立て上げ取引先
へお届けします。



認証・登録対象組織

全組織 竹田サンテックグループ

竹田サンテック株式会社

共立サンテック株式会社

全活動 樹脂成形金型の設計/製作
仕上げ加工

	竹田	共立
売上高	1,549百万円	454百万円
※従業員数	49名	43名
延床面積	1,658m ²	1,141m ²
敷地面積	2,166m ²	1,850m ²

※ 役員を含む



竹田サンテックグループは
課題の改善に力を注ぎます!!
(P19～P22参照)



	社内で 考えられる	社外で 考えられる
事業における 課題 ◆事業上の弱み ◆問題点	- 加工不良（作業ミス）がある - 作業環境の維持 粉塵対策等	自動車車種の減少 （予想） モデルチェンジ周期 の長期化
事業における チャンス ◆事業上の強み ◆有利な点	- 大型金型、精密金型の技術力がある - 改善提案が推進されている	顧客数が少ない

環境経営方針



会社方針 モノづくりへの挑戦

- 創業以来の実績と先進技術開発により常にフレッシュな加工技術をものにします。
- 工程や加工法を革新的に合理化し、短納期に対応するとともに品質向上に努めます。
- ジャンルを問わない取り組みと経費の見直しによりコスト低減を実現します。



基本方針 環境問題への積極的な取り組み

- 当グループは、事業活動を行うなかで、環境保全が重要な課題の1つであることを認識し樹脂成形金型の一貫作業において客先からの要求をチャンスととらえ、技術の向上と資源の有効活用を図り環境問題への積極的な取り組みに努めます。



行動指針 5項目の活動

- 当グループに適用される環境関連法規・当グループが同意するその他の要求事項を遵守します。
- 事業活動を通じて、以下の取り組みに対して環境目標・環境活動計画を定め継続的な改善に努めます。
- 2050年のカーボンニュートラルへの取り組みを積極的に進めます。

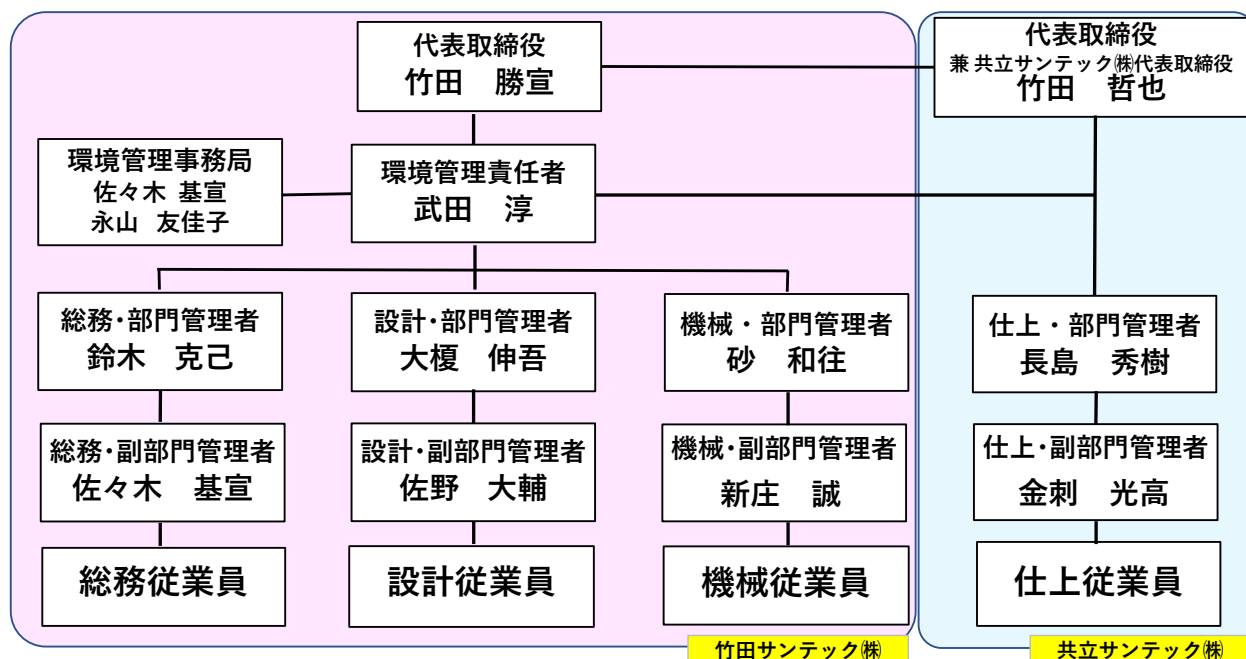
- ①省エネルギーに取り組み、**二酸化炭素の排出量を削減**します。
- ②安定型混合物の中身を明確にし、**廃棄物排出量の削減**に努めます。
リサイクルの推進に努めます。
- ③節水に努め、**水使用量を削減**します。
- ④改善提案から課題を発見し、チャンスと捉え、**品質の改善及び効率化**として**改善提案の推進**を図ります。
- ⑤環境保全に関する**地域社会との調和**を図ります。

制定日 2013年10月 4日
改訂日 2022年11月25日 (第6版)

竹田サンテックグループ

竹田サンテック(株)	代表取締役	竹田 勝宣
共立サンテック(株)	代表取締役	竹田 哲也

エコアクション実施体制（竹田サンテックグループ） 対象範囲：全組織・全活動



担当役割



代表取締役

- 総括（環境経営システム・緊急事態発生時等）
- 課題とチャンス の明確化
- 経営資源の準備
- 環境経営方針の策定
- 全体の評価と見直し・指示



環境管理責任者・環境管理事務局

- 環境経営システムの構築・運用・維持、社長への報告
- 環境関連法規等の遵守評価
- 環境目標・活動計画の策定・見直し
- 環境関連法規等の取りまとめと見直し
- 中間審査・更新審査の受審
- 環境経営レポートの作成



部門管理者・副部門管理者

- 代表取締役・環境責任者の指示、命令を伝達
- 自部門の環境経営システムの運用・維持
- 教育訓練・緊急事態への準備および対応・是正処置など



従業員

- 環境経営方針、環境活動計画等の取組への遂行
- 環境関連法規等の遵守および社会貢献など

生産活動での投入量と排出量（2023年度実績）

投入量



製造



排出量

竹田サンテックグループ

竹田サンテック(株)

エネルギー

グループ合算値

電力 2,560千kWh

原材料

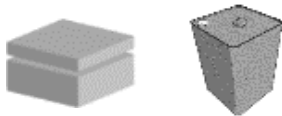
金属材料 366t

電極材料 21t
(カーボン)

切削油 4t

化学物質

PRTR法の該当品なし



金型設計

- 設計図作成
- 3Dモデル

機械加工

(NC加工プログラム)

- 穴開け加工
- 切削加工

(金属、電極材)



共立サンテック(株)

仕上加工

- 放電加工
- 旋盤・磨き
- 組立

CO₂ 排出量

グループ合算値

469,010 kg-CO₂

材料・再資源化

鋼材・切粉 124 t

電極材・切粉 18 t
(カーボン)

廃油 (油性) 3 t

製品

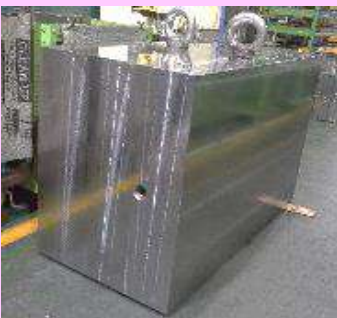
生活用

- 水使用量
- ガス使用量

納品引取・打合せ

ガソリン車、軽油車

鋼材の写真



切削加工の写真



完成品の写真



環境経営目標

【 23～25年の3年間】

		ベース期	中 期 目 標						
環境活動削減項目 ◇ CO ₂ 係数		20年度実績	ベース比 削減率	今期取組年度 23年度目標	ベース比 削減率	24年度目標	ベース比 削減率	25年度目標	
CO ₂ 排出量削減 (kg-CO ₂)	竹田	710,748	85.3 %	☆1 104,335	92.0 %	56,546	92.0 %	56,294	
	共立	421,745	1.5 %	415,544	2.5 %	411,411	3.4 %	407,281	
	合計	1,132,493	54.1 %	519,879	58.7 %	467,957	59.1 %	463,575	
電力使用量 (kw) ◇ 0.379 中部電力2020年度 調整後排出係数	竹田	1,737,778	2.5 %	1,693,468	2.5 %	1,693,468	10.3 %	1,559,347	
	共立	1,100,177	2.0 %	1,078,365	3.0 %	1,067,580	4.0 %	1,056,795	
	合計	2,837,955	2.3 %	2,771,833	2.7 %	2,761,048	7.8 %	2,616,142	
ガソリン使用量 (ℓ) ◇ 2.322	竹田	5,231	1.0 %	☆2 5,180	1.5 %	5,155	1.9 %	5,130	
	共立	1,409	+ 22.0 %	1,720	+ 21.0 %	1,705	+ 20.0 %	1,691	
	合計	6,640	+ 3.9 %	6,900	+ 3.3 %	6,860	+ 2.7 %	6,821	
軽油使用量 (ℓ) ◇ 2.585	竹田	15,401	+ 2.5 %	☆2 15,786	+ 2.0 %	15,710	+ 1.5 %	15,635	
	共立	491	+ 103.0 %	996	+ 102.0 %	992	+ 101.0 %	988	
	合計	15,892	+ 12.0 %	16,782	+ 11.6 %	16,702	+ 11.1 %	16,623	
廃棄物排出量削減 一般:可燃ゴミのみ (kg)	竹田	2,036	3.0 %	1,975	4.0 %	1,955	5.0 %	1,934	
	共立	1,319		1,280		1,266		1,253	
	合計	3,355		3,255		3,221		3,187	
産廃:混合廃棄物 (kg)	竹田	2,049	3.0 %	1,988	4.0 %	1,967	5.0 %	1,947	
	共立	1,866		1,810		1,791		1,773	
	合計	3,915		3,798		3,758		3,720	
総排水量の削減 (m ³)	竹田	452	3.0 %	438	4.0 %	434	5.0 %	429	
	共立	442		429		425		420	
	合計	894		867		859		849	
品質改善及び効率化 改善提案提出件数		72	1件/人	78	維持	78	維持	78	
地域貢献 会社周辺清掃実施率		共通	100%	維持	100%	維持	100%	維持	100%
課題の改善 不具合発生率の削減		☆3	100%	55 %	45%	60 %	40%	65 %	35%

化学物質（PRTR法対象物質）は使用していないため項目に入れていません。

☆1 竹田サンテック(株)は2023年4月よりCO₂フリー電力の契約に切替えました。

☆2 ガソリン及び軽油の目標はコロナ禍が終了し立合い回数及び新規成形先が増えたので見直しをしました。

☆3 ベース期の不良発生件数を100と指数表示しました。

今期活動実績と評価

【 2023 年】

		ベース期	今期活動実績と評価					
環境活動削減項目 ◇ CO ₂ 係数		20年度実績	ベース比 削減率	23年度目標	23年度実績	目標/実績	目標 達成	掲載 ページ
CO ₂ 排出量削減 (kg-CO ₂)	竹田	710,748	85.3 %	104,335	106,615	2.2 %	×	10
	共立	421,745	1.5 %	415,544	362,396	△12.8 %	○	
	グループ 合計	1,132,493	54.1 %	519,879	469,011	△ 9.8 %	○	
電力使用量 (kw) ◇ 0.379 中部電力2020年度 調整後排出係数	竹田	1,737,778	3.0 %	1,693,468	1,621,429	△ 4.3 %	○	11
	共立	1,100,177	2.0 %	1,078,365	938,703	△13.0 %	○	
	合計	2,837,955	2.3 %	2,771,833	2,560,132	△ 7.6 %	○	
ガソリン使用量 (ℓ) ◇ 2.32	竹田	5,231	1.0 %	5,180	5,113	△ 1.3 %	○	13
	共立	1,409	+ 22.0 %	1,720	1,623	△ 5.6 %	○	
	合計	6,640	+ 3.9 %	6,900	6,736	△ 2.3 %	○	
軽油使用量 (ℓ) ◇ 2.58	竹田	15,401	+ 2.5 %	15,786	16,322	3.4 %	×	13
	共立	491	+103.0%	996	1,020	2.4 %	×	
	合計	15,892	+ 12.0 %	16,782	17,342	3.3 %	×	
廃棄物排出量削減 一般:可燃ゴミのみ (kg)	竹田	2,036	3.0 %	1,975	1,789	△ 9.4 %	○	14
	共立	1,319		1,280	909	△29.0 %	○	
	合計	3,355		3,255	2,698	△17.1 %	○	
産廃:混合廃棄物 (kg)	竹田	2,049	3.0 %	1,988	1,345	△32.3 %	○	14
	共立	1,866		1,810	1,357	△25.0 %	○	
	合計	3,915		3,798	2,702	△28.9 %	○	
総排水量の削減 (m ³)	竹田	452	3.0 %	438	443	1.1 %	×	16
	共立	442		429	440	2.6 %	×	
	合計	894		867	883	1.8 %	×	
品質改善及び効率化 改善提案提出件数	共通 活動	72	1件/人	78	79		○	16
地域貢献 会社周辺清掃実施率		100%	維持	100%	100%		○	18
課題の改善 不具合発生率の削減		100%	55 %	45%	51%		×	19

グループとしての評価

各社ごとの評価はP10～P21に記載

定例会議にてグループ全体で四半期ごとの

活動評価を発表しています。目標達成を意識しながら活動をしていました。廃棄物の分別における意識が高まっています。24年度の目標値は当初のまま変更しません。

活動取組内容と結果 および次年度の取組内容



①二酸化炭素排出量削減

CO₂ 排出量内訳 ■ 電力 ■ 軽油 ■ ガソリン

竹田93%・共立97%

竹田はCO₂フリー契約前
～23年4月まで

【目標・取組活動 (Plan・Do)】

以前は当グループのCO₂排出量を占める割合は大型の加工機・空調設備を保有するため93%以上が電力でした。

省エネ活動に努めました。

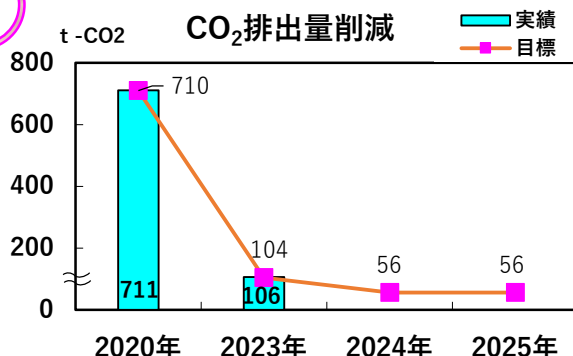
竹田サンテック(株)はCN達成に向け削減計画を検討し、中部電力が提供する

【県産CO₂フリー電気】に契約を切替えました。



【結果・次年度の活動 (Check・Act)】

竹田
ST

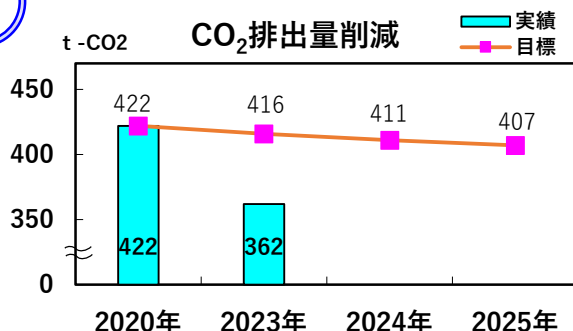


CNを実現するため、2013年度比△50%削減計画を立てました。

20年度では、13年度比△17%となり、2030年中間目標まで△33%となりました。今期4月にCO₂フリー電気を契約し大幅削減をしました。

削減計画を活かして次年度も省エネに努めます。

共立
ST



CO₂排出量の占有率が99%を占める電力に比例し目標を達成しました。

活動項目の遵守状況を定期的に確認する事や節電に繋がる小さな行動の積み増しを大切に次年度も省エネに努めます。

①二酸化炭素排出量削減



◆ 電力消費量削減

CO2占有率 1位 (93%以上)

【目標 (Plan)】

電力消費の大部分を占める加工機やエアコンの電力をムダに使わないように努めています。

【取組活動 (Do)】

活動項目	社内ルール	遵守状況
① 不要照明の消灯	昼休み、離席時は消灯を行う。	○
② エアコン管理 室温計・CO ₂ 濃度測定器併用	体感温度や室温、CO ₂ 濃度を考慮し空調を効率的かつ省エネルギー利用する。デマンド対策を実施中（自動制御 設置 '20/12） 前年の契約電力350kwh以下を目指す。	○
③ 設計 室内環境の改善	部屋の端～端までと天上～床上までの温度ムラをなくするためサーキュレーター4台と換気扇4カ所を増設。室温・濃度 随時測定	○
④ エアコンフィルター清掃/交換	各担当者が、隔週木曜日にフィルターを目視点検する。	○
⑤ 機械フィルター清掃/交換	各担当者が、隔週木曜日にフィルターを目視点検する。	○
⑥ エアー漏れチェック	自主保全点検チェックシートに使用前チェックをする。 (配管途中の継ぎ手部、エアーガンホースの取付部など)	○
⑦ 加工不良の削減	不良要因に対する対応を進め月1の部門長会議で検討する。 不具合発生時には報告書を提出する。20ページを参照	○
⑧ 改善提案の募集	改善提案より省エネに繋がるものを募集する。 事例紹介は18ページを参照	○
⑨ CN活動の推進	省エネ・環境保全活動を全員参加で積極的に進める。 コンプレッサーの吹出圧力低減と中部電力の節電要請に協力	○
⑩ 目標と実績の評価	部門長・副部門長とのコミュニケーションを円滑にし、3ヶ月ごとに活動状況（達成度/活動報告/是正内容）の確認をする。	○

【結果 (Check)】



前年比較

(竹田) 350kwh⇒340kwh ○

(共立) 296kwh⇒290kwh ○



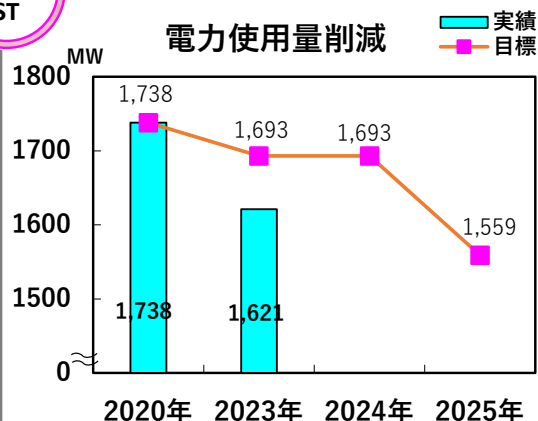
エアコンフィルター交換も
定期的に実施しています。



コンプレッサの吹出圧力を
0.61⇒0.55Mpaに低減
使用量の占有率が30%⇒25%に
下がりました。

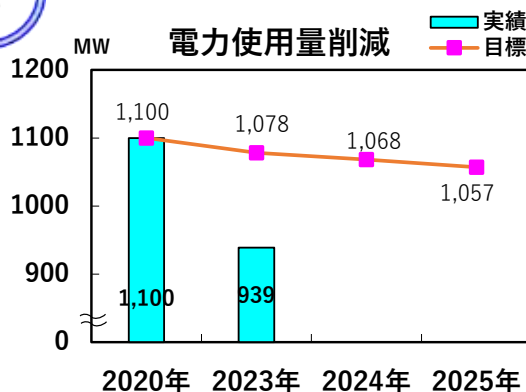
目標と実績のグラフと評価コメントです。

竹田
ST



C Nの実現に向けた目標値に設定しスタートしましたが、2020年と比較して今期上半期は機械稼働時間が2,890時間増加し目標未達が続きました。24年度まで設備投資等による大幅な電力量削減ができないため目標値の見直しを実施いたしました。下半期で受注高が減り使用量が減少し、デマンド管理の効果や活動の遵守、吹出圧力の低減による効果によって目標を達成することができました。

共立
ST



2020年と比較すると受注した型種の多くは、小型やインナーレンズのような高い精度が求められています。部品加工を行っている精密NCフライス盤の使用頻度が増えました。下半期で受注高が減り、放電加工機の稼働時間が少なかったことが大きな減少要因だと思います。また、活動項目においてエアコン及び機械のフィルターの未交換が2回ありました。是正処置の後には活動が定着しています。

【次年度の活動 (Act)】

改善提案の作業改善は省エネに直結しやすい提案です。

日常の業務の中で（加工工程の見直しなど）アイデアを募集します。

定期的に行っている会議で活動状況や目標達成率などを確認しながら活動をフォローしていきます。

①二酸化炭素排出量削減

◆ ガソリン・軽油消費量削減



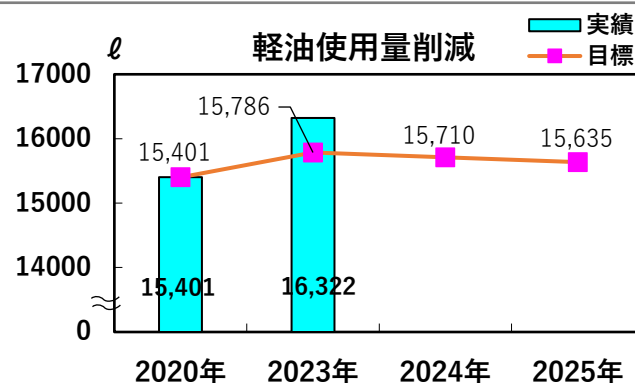
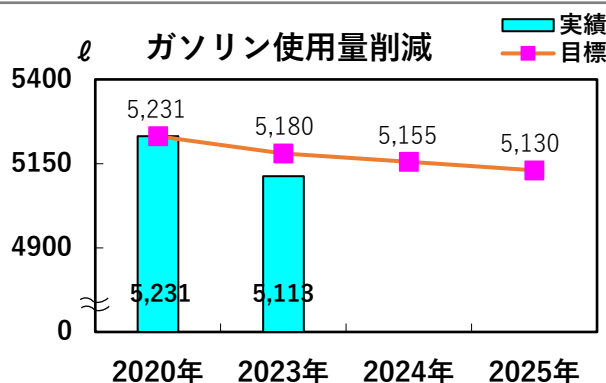
【目標・取組活動 (Plan・Do)】

走行距離・給油量・型重量を記録し
燃費を意識しながらエコ運転に努めました。



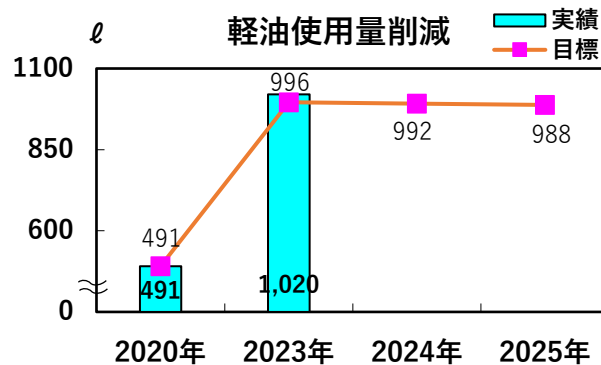
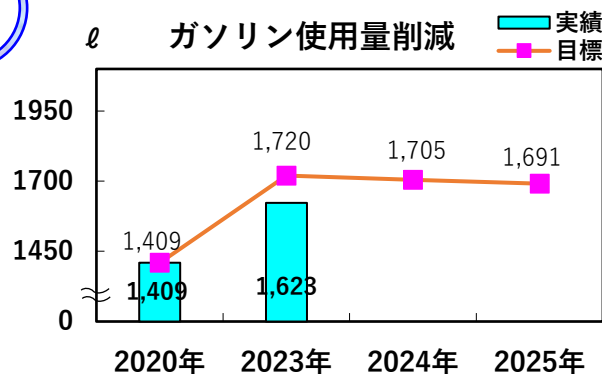
【結果・次年度の活動 (Check・Act)】

竹田
ST



コロナ禍の終わりから成形の立合い回数が増加し、ガソリンの使用量が増えました。軽油はベース期に未導入だったトレーラーの使用量と納品引取先が県外まで広がったため増加しています。期の途中でガソリンと軽油の目標値を見直しましたが、ガソリンは達成し、軽油は未達という結果でした。活動の取組は定着しているので次年度も活動の継続とエコ運転に努めていきます。

共立
ST



竹田と同様、成形の立合い回数が増加し、ガソリンの使用量が増えました。軽油は県外まで利用が広がったため増加しています。期の途中でガソリンと軽油の目標値を見直しましたが、ガソリンは達成し、軽油は未達という結果でした。活動の取組は定着しているので次年度も活動の継続とエコ運転に努めていきます。

②廃棄物排出量削減



◆ 一般・産業廃棄物

(可燃物のみ)

(混合廃棄物)

【目標 (Plan)】

資源を大切に使います。

分別を意識しごみの減量化をします。



【取組活動 (Do)】

活動項目	社内ルール	遵守状況
① 分別徹底	可燃ゴミに紙類・ダンボールを混ぜない。 金属類・廃プラ等 産廃コンテナに入れない。	○
② 有価物化の推進	紙・カタログ・雑紙・ダンボールは有価へ回す。 金属・廃プラ・グラファイト・廃油等は有価へ回す。	○
③ 一般 裏紙使用の推進/管理	社内の届出用紙等は裏紙を利用する。 利用した枚数のカウントをする。	○
④ 一般 FAX受信のファイル管理	FAX受信を直接PCに受信設定をして不要なDMの出力をなくす。不要データ数のカウントをする。	○
⑤ 委託先の現地確認	処理の状況、施設状況、許可証及びかんばんの確認 トラブルの有無などを年1回、現地確認をする。	○
⑥ パトロールチェック	分別の意識向上を図るため、分別の中身をチェックし指摘する。 月2回 安全委員8名で実施。チェック表を作成し全体回覧⇒P15	○
⑦ 改善提案の募集	改善提案より省エネに繋がるものを募集する。 事例紹介は18ページを参照	○
⑧ 目標と実績の評価	部門長・副部門長とのコミュニケーションを円滑にし、3ヶ月ごとに活動状況（達成度/活動報告/是正内容）の確認をする。	○

【結果・次年度の活動（Check・Act）】

廃棄物パトロール結果（活動項目⑥）

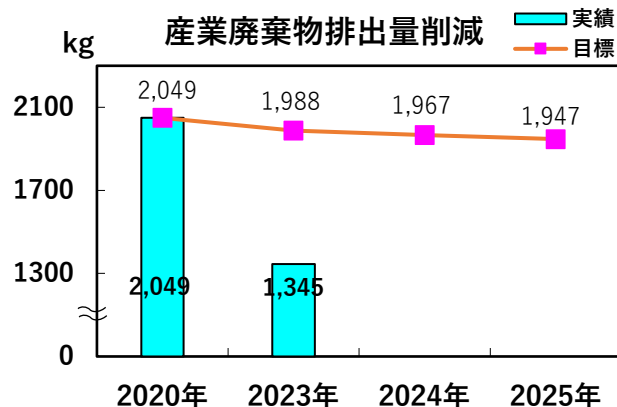
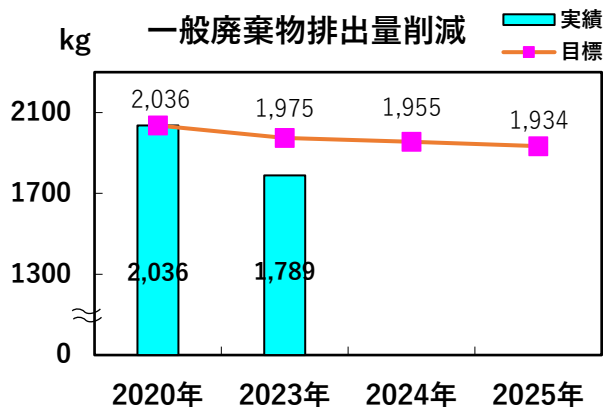
各部署の廃棄物置場や集荷場所の処理状況をチェック

	指摘内容（月2回 年24回実施）	指摘回数
一般	梱包材は細分化して処理する。	1/24回
産業	混廃の内容物の記載がない	5/24回
産業	ペール缶は雨水が入らない様にフタをして廃棄する	2/24回

チェック表の作成

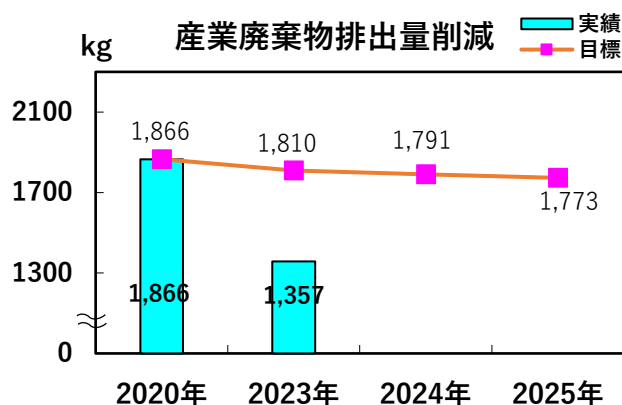
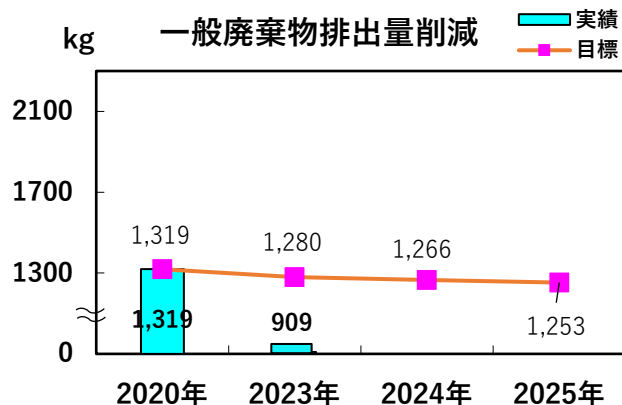
廃棄物のパトロールチェック表		確認	作成
実施日 2023年4月6日		()	()
【産業コンテナ置場、廃棄置場、廃PC置場、白丸機置場、白丸機置場】	チェック内容	確認	作成
① 分別がされているか	○	○	○
② 汚損防止の対策がとられているか	○	○	○
③ 廃棄物の入力は適切か	○	○	○
④ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑤ 廃棄物の入力は適切か	○	○	○
⑥ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑦ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑧ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑨ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑩ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑪ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑫ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑬ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑭ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑮ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑯ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑰ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑱ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑲ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
⑳ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉑ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉒ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉓ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉔ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉕ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉖ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉗ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉘ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉙ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉚ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉛ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉜ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉝ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉞ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㉟ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊱ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊲ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊳ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊴ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊵ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊶ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊷ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊸ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊹ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊺ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊻ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊼ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊽ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊾ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○
㊿ 汚染防止の対策がとられているか	○	○	○

竹田
ST



活動項目の①分別徹底及び②有価物化の推進は定着しています。それが目標達成の成果に繋がったと言えます。活動項目の③裏紙使用枚数は6,837枚、④FAX受信の管理により不要なDM枚数の削除が836件でしたので費用換算すると2,174円相当のコスト削減ができました。⑤実地確認も双方の契約内容及びマニフェストの交付、処理の状況を確認し問題ありませんでした。その内容を写真付きでまとめ関係者に広報しました。⑥改善提案で排出量の削減に関する提案は2件でした。次年度も引き続き活動を継続し削減に努めます。

共立
ST



竹田サンテックと同様、活動項目は定着しています。改善提案で排出量の削減に関する提案は2件でした。次年度も引き続き活動を継続し削減に努めます。

③総排水量削減（生活用水として利用）



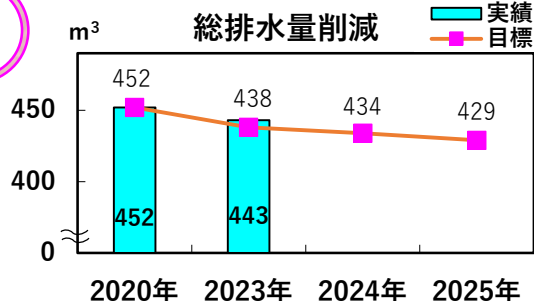
【目標・取組活動（Plan・Do）】



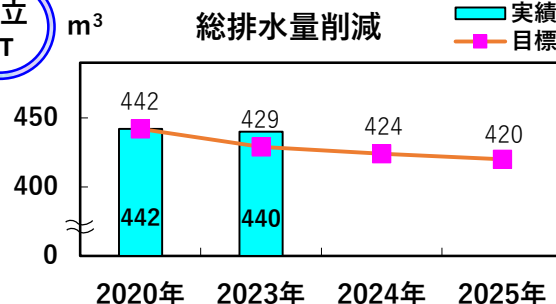
毎日使う水回りでの節水を心掛け節電にも貢献します

【結果・次年度の活動（Check・Act）】

竹田
ST



共立
ST



グループで共用して使う場所が多いので使用量は案分します。（端数は竹田）

生活用水として利用した以外に、夏場にコンプレッサーがオーバーヒート防止対策のため、放水をしながら吸気温度を下げる試運転にて利用しました。（各社 3台所有）

次年度から試運転の効果により使用量の変動がある場合は目標を見直します。

今後も引き続き削減につながる提案の募集と節水に努めます。

④製品・サービスの環境配慮

グループ活動



◆改善提案の推進 ～品質改善及び効率化～

【目標・取組活動（Plan・Do）】

ちょっとした問題に気づき、解決をすることで業務改善へと繋がります。

①目標件数を上げ活性化を図りました。

②採用された事例が横展開されているかを確認しました。

採用された事例は毎月第4木曜日にE A担当者が提案者へ実施完了済みかどうかを確認しました。（進捗状況を表で管理⇒）

採用された提案は
実施後の写真を撮ら
せてもらいます。



改善後の効果確認			
採用状況	写真	効果内容	完了状況
○		色が揃ってあるので 接す手間がなくなりました。	済

【取組活動（Do）】

①改善提案の事例紹介

■ 工場での暑さ対策（遮熱）

機械からの排熱と窓から入る太陽光で室温が上がりエアコンが効かない。

⇒ **窓ガラスに遮熱シートを貼り付ける。**
温度上昇を抑える効果となりました。
自社施工でコストの削減も図りました。

提案者 瀧澤さん



遮熱シート（左）未施工（右）

■ フィルターの目詰まり対策

熱交換機器のフィルターはすぐ目詰まりし易く、故障のリスク及び消費電力の増加に直結する。

⇒ **備え付けのフィルターの上に制御装置フィルターを設置しこまめに交換する。**
故障のリスクと電力の消費を減らせます。

提案者 森竹さん



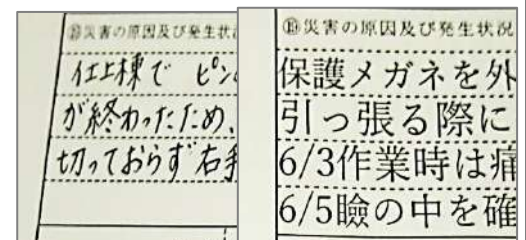
■ 労災書類をPDFで入力作成

労災事故発生時の提出用紙を手書きで記入をしていた。

⇒ **厚生労働省の入力型PDFのデータを活用してPCで入力**

書き損じによる用紙削減と病院と薬局へ2枚作成するため時短になりました。

提案者 佐々木さん



用紙に手書き（左）PCで入力（右）

■ アイボルトの取り付け間違い防止

アイボルトのミリねじ、インチねじの見分けがしづらい

⇒ **ミリねじに色をつける**

探す手間がかからなく、取り付け間違いによるクレーンでの落下事故防止に繋がる。

提案者 鈴木洋さん



ミリねじ（ピンク色）

■ 切削工具の加工限界時間の調査

提案者 石垣さん

工具材質が違う刃物でも通常多用している
刃物同様に6～8時間程度で交換をしていた。

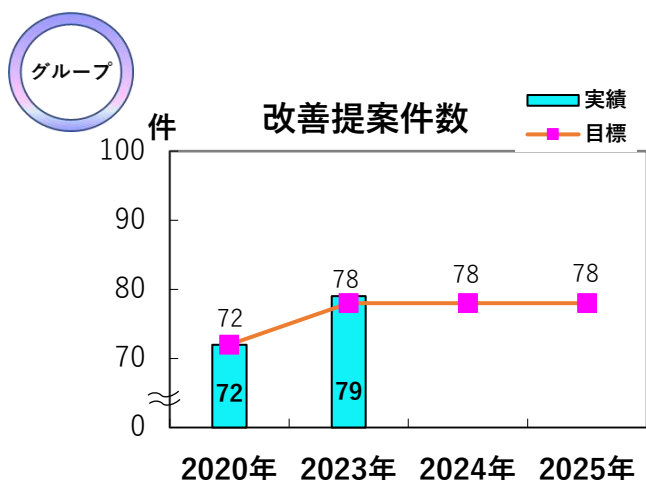
⇒加工限界時間の調査をする

刃物の購入数もわかるため原価低減に繋がり
刃物をセットする段取時間の短縮にも繋がった。

刃物の先端の欠け具合を
PC上でチェック



【結果・次年度の取組活動（Check・Act）】



目標達成しました。各部門長が目標達成に向けて一定量の提出を声掛けしたり、過去の提案をリスト化し新テーマの発見に繋がる工夫をした結果だと思えます。採用された提案の進捗状況を確認し完了次第、写真を撮り管理しています。前期未完だった提案は、今期中にすべて完了しました。

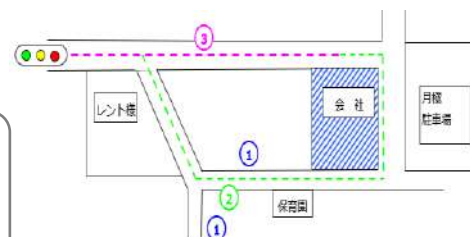
今後も継続し業務改善に繋がります。

⑥地域社会との調和

◇会社周辺清掃



グループ活動



会社周辺エリア

① 機械・総務

② 設計 ③ 仕上 が担当



【目標・取組活動（Plan・Do）】

会社周辺清掃（毎週火曜日・金曜日）
を実施しました。

【結果・次年度の取組活動（Check・Act）】

グループ

	2020年	2023年	2024年	2025年
目標	100%	100%	100%	100%
実績	100%	100%		

実施率100%を維持し目標を達成しました。

ローテーション制でチェック表の記載にも漏れがありませんでした。

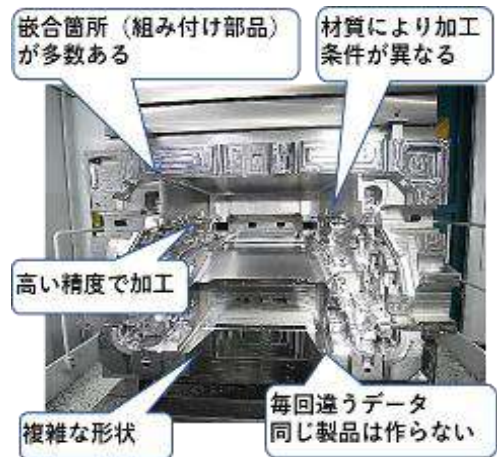
事業における課題①

グループ活動

◆ 不具合発生率の削減

【目標 (Plan)】

ベース期の不良発生件数より減らします。(削減率で表示)



【取組活動 (Do)】 重要度の高いものを中心に対策する

設計部：

i) 知識不足・教育不足



- ・教育担当者と関係者が不具合の事例をもとに原因と対策を話し合い必要な知識を伝える。
- ・過去の事例をシュミレーションし防止する。
- ・事例を共有できるように標準化を進める。
- ・納品先によって成形機の仕様が異なるので、チェック表に基づき複数回確認を行う。

機械部：

i) 加工前後の確認不足



- ・加工前に空運転でプログラムや原点の確認をする。加工箇所の印付けや刃物等の寸法確認を全員で遵守する。(週1回 全員に遵守状況の確認)

ii) 教育不足

- ・複数の業務を遂行するスキルを身に付ける。

仕上部：

i) プログラム入力ミス



- ・メモと付箋を利用し必要な値や情報を記入する。見えやすい位置に貼付け、入力画面と照合させながら入力を正しく行う。

ii) 教育不足

- ・不具合報告書を回覧し情報の共有を図る。
- ・複数の業務を遂行するスキルを身に付ける。

【結果 (Check)】

各部署の不具合対策内容とその評価

設計部：知識不足・教育不足

対策内容：新規の成形先の増加により成形先仕様の内容に対して不明な項目や変更内容が多いため、設計全員に対して事前に指導を行いました。不具合発生後は、原因と対策を現物及びデータ等で確認し再発防止に努めました。新人に対して不具合が起きた時は図面の方向視や描き方を再教育しアドバイスをしながらフォローをしています。他部署からの要求内容にも応えられる様に資料にまとめ、部署・他部署内の連携強化も積極的に行いました。

ベース期



今期



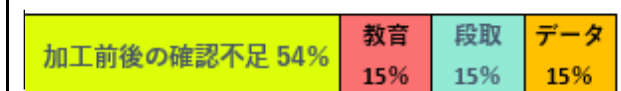
効果・足りない点：不具合事例の共有、他部署から要求内容をまとめ連携強化を進めることで不良の削減に繋がっています。効果があったため次年度も継続します。

機械部：加工前後の確認不足と教育不足

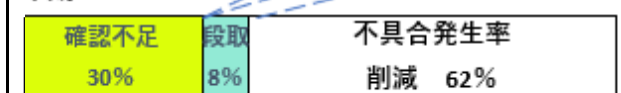
対策内容：設計・プログラムの事前打合せを行い、加工前の注意事項などを把握し、確認不足による対策をうちました。その他、加工前後に確認するポイントを週一回朝礼時に周知しています。不具合発生時は報告書を作成しています。

教育に関して、新人2名に対して教育が進み、多種類の機械に触れることにより経験値をあげています。教育の進捗スピードはゆっくりですが習熟した後、次のステップを検討しています。

ベース期



今期



効果・足りない点：加工前の事前の打合せをせず不良をまねいてしまった案件が数件重なった。指示書の内容確認も含め、今後は他部署との確認を加工前に必ず行っていきます。次年度も継続し定着度を上げます。

【結果（Check）つづき】

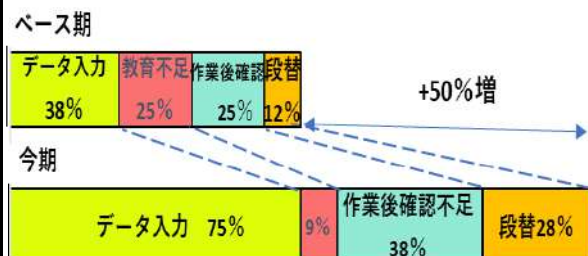
各部署の不具合対策内容とその評価

仕上部：データ入力ミス・教育不足

対策内容：データの入力、新型が出始めるタイミングで一番不具合を起こしやすく、メモに取る、付箋を貼るなど確認作業に必要な情報を書き込み入力時に照合させることを複数回注意喚起しました。作業に集中し周りの人も話しかけないルールを新たに設定しました。

不具合発生時も速やかに報告書を作成し、写真や書面で部署内の周知を徹底しています。

教育の進捗状況は仕事量が増えあまり対応ができませんでした。



効果・足りない点：確認作業時にテストモードの実施や、複数人で行うことを対策内容に追加します。教育も少しずつ取り組み人員を増やし積極的に行っていきます。

グループ活動での評価



	2020年	2023年	2024年	2025年
目標	100	△55	△60	△65
実績	100	△49		

目標を達成できませんでした。

業務量の増加による確認不足や

データ入力によるヒューマンエラーが多発しました。

次年度は不具合報告書の内容の周知および注意喚起の実施をして、確認不足の回避とルール遵守に努めます。

【次年度の活動（Act）】

- ①引き続き、要因及び対策の見直しを行い不良対策に努めます。
- ②月1回の部門長会議で対応内容の確認をします。
- ③定例会議で目標達成を意識しフォローしていきます。

事業における課題 ②

グループ活動

◆ 作業環境の維持

【目標・取組活動 (Plan・Do)】

健康リスクの低減に努めました。

金属を削っているため粉じん等が浮遊しやすい環境です。健康リスクを最小にするために以下の管理をしました。

①集塵機の使用前点検を行う。

②作業環境測定を年2回実施します。

粉じん測定の対象エリアを細分化して測定します。

New

③置き型エアコンの内部汚れを清掃します。



清掃前のファン内部

【結果・次年度の活動 (Check・Act)】

①集塵機の点検表を確認

点検漏れ無しおよび異常はありませんでした。

②作業環境測定を実施しました。(業者委託)

8月と2月の2回、5ヵ所を行いました。

竹田・共立とも測定結果は区分①で問題ありません。

結果を関係者へメール配信し、全体に周知をしました。

②エアコンの内部清掃を行いました。(業者委託)

ファンは油の付着で真っ黒な状態、熱交換器も粉塵と油汚れで目詰まりし、外部は粉塵とカビで白い状態でしたがきれいになりました。

アレルギーの防止や節電の効果が予測できます。効果を確認した後、他のエアコンも検討します。



環境測定(粉塵)



清掃前のファン内部
油汚れで黒く粉塵、カビが付着して白い

環境関連法規等の遵守状況 および違反・訴訟等の有無



◎遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
違反、訴訟等の指摘は過去3年間ありません。

作成日 2013年10月15日
法規見直日 2024年3月22日
遵守状況確認 2024年3月29日
遵守状況評価者 武田 淳

法規・条例	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	会社	評価
電気事業法	自家用電気工作物設置 保安規程の制定、届出及び遵守 法定点検の実施	中部電気保安協会へ委託	竹田・共立	○
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律 (静岡市 産業廃棄物の 適正な処理に)	産業廃棄物の保管	保管基準の遵守・保管場所の表示	竹田・共立	○
	産業廃棄物の委託処理	処理業者と契約契約書の締結済		○
	マニフェスト管理	マニフェストの交付、5年保管		○
	マニフェスト交付状況の報告	2023年6月に報告書提出済		○
	委託先の実地確認と記録の保存	2023年12月に実施・記録済		○
騒音規制法	特定施設の届出	特定施設の届出済	竹田・共立	○
	規制基準値の遵守	測定外部委託済（年1回）		○
振動規制法	特定施設の届出	特定施設の届出済	竹共田立	○
自動車・家電 リサイクル法	廃棄時の記録管理等	今期はありませんでした。	竹共田立	○
化管法	PRTR制度 (第1種指定化学物質515種類)	PRTR法の該当なし	竹田・共立	○
	SDS制度 (第1種及び第2種指定化学物質)	調査及び教育実施済		○
労働安全衛生法	安全又は衛生のための教育 (安全衛生推進者講習等)	該当者 資格取得済	竹田・共立	○
	クレーンの法定点検・定期点検等	業者委託 点検済		○
	フォークリフト定期検査	車両点検 業務委託		○
	作業環境測定・粉塵測定(自主点検)	粉じん測定を業務委託済（年2回）		○
	健康診断の実施	健康診断（6月頃実施）		○
フロン排出抑制法 第一種特定製品	冷媒漏えい点検・整備記録等 (廃棄後3年間点検記録保存)	圧縮出力7.5kwh以上業者委託済 その他自主点検3ヶ月ごと実施済	竹田・共立	○
	廃棄等実施者の引渡義務	今期はありませんでした。		○
消防法	消防用施設の法定・定期点検等	業者委託 点検済（年2回）	竹田・共立	○
	静岡市火災予防条例	防災規定書（左記の条例含む）確認		○
	少量危険物の届出	数量変更の届出提出	竹田	○
	指定可燃物の届出	数量変更の届出提出		○
	一般取扱所の届出	数量変更の届出提出	共立	○

代表者による全体の評価と見直し

見直日 2024年3月31日

全体評価コメント

今期4月にCO₂フリー電気に切替えたため、CO₂排出量は大幅に削減出来ましたが、目標値を高く設定し過ぎたためか、目標達成にはあと一歩でした。

また、県外の納入先が増えたため、軽油の使用量が増加し、目標達成は出来ず、夏期にはコンプレッサー室の温度を下げるために水を使用したため、総排水量の削減目標も達成出来ませんでした。

そして課題であった不具合発生率の削減では、竹田は大幅に削減出来ましたが、共立は大幅に増加してしまい、グループ全体では目標達成できませんでした。

今期の取組状況の確認

環境経営方針、環境目標、環境活動計画及び環境経営システム等における取組状況を確認し見直しの必要性はありません。

見直し指示内容

目標を達成出来た項目については引き続き継続し、達成出来なかった項目については更なる努力を重ね、目標を達成出来るよう活動すること。

また、経営に直結する不具合発生率の削減については特に力を入れること。

竹田サンテックグループ



竹田サンテック(株) 代表取締役

竹田 勝宣

共立サンテック(株) 代表取締役

竹田 哲也